

DANGER

重大な警告

あなたのパソコンがウイルスに感染しました。

セキュリティ上問題のあるページを閲覧したためあなたのパソコンはウイルスに感染しました。個人の写真、クレジットカードデータ等が流出した可能性があります。情報を保護するためのソフトウェアをダウンロードする必要があります。今すぐこちらの連絡先へ連絡してください。

↑パソコンウイルス除去名目の偽メッセージ(イメージ)

茅野市の高齢者が集う地区運動教室。皆さんいきいきと楽しみながら運動を行っています。楽しそうな皆さんには申し訳ないと思いつながら「特殊詐欺」に遭ったことはありませんか、と聞いてみました。すると「息子と名乗る男から電話があった」「長男の名前で声がそっくりな男から電話がきた」といくつもエピソードを聞くことができました。

今や聞き慣れたいろいろな特殊詐欺。ずっと前からあるものだから今さら自分は騙されない。そう思っている、わが子と名乗る犯人は言葉巧みに私たちの心の中に侵入してきます。

2016年中に長野県内で発生した特殊詐欺被害の認知件数は215件、被害総額は約4億9千万円に上ります。なぜ私たちは騙されるのか、どうしたら騙されないのか、茅野警察署生活安全課小池さんにお伺いしました。

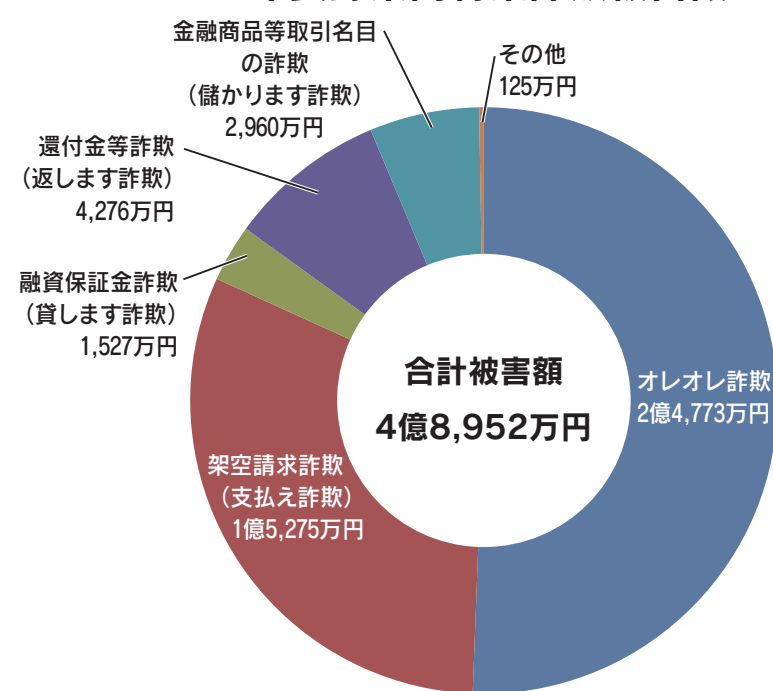
被害が減少しない背景には、時代に合わせた進化する詐欺の手口の登場があります。

『以前からある手口は、電話口でオレオレと言って振り込ませるものでした。それがゆうバックで送れと言われたり、弁護士が取りにいくからと言ったりといういろいろな形でお金を要求してくる。最近では電子マネーを購入させるという、十年前には無かったものにも対応してきています。』

また最新の手法として、パソコンのセキュリティソフトからのメッセージを装った詐欺も登場しています。突然パソコン上に「ウイルスに感染しました」とメッセージが表示され、表示された連絡先に連絡すると、対策ソフトを利用するために代金を支払うように指示されるといったものです。

進化する詐欺、新しい手口

2016年長野県内特集詐欺被害額



※千円以下切捨につき合計金額は一致しません

すぐ側に特殊詐欺

オレオレ詐欺、振り込め詐欺…聞き慣れたこの言葉は10年以上前から使われています。しかし未だ長野県内だけでも年間数億円の被害が出ています。なぜ騙されてしまうのか、どうしたら騙されないのでしょうか。



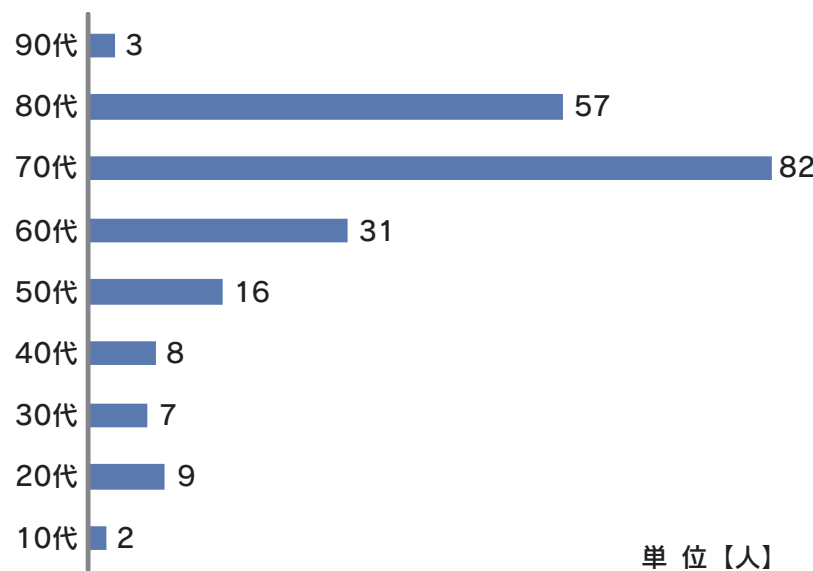
一人暮らしの高齢者はかりじやない？被害者の特徴は。

2016年の県内被害者を年代別に見ると、60代以上の被害者が約8割となつています。被害者のイメージとして、一人暮らしの高齢者というのがあり、家族と同居していた被害者は68%なんです。

小池さんによると、オレオレ詐欺の犯人は、ほかの家族には言わないように指示するケースが多いそうです。「会社のお金を横領してしまった」「浮気相手を妊娠させてしまい慰謝料を請求されている」そんなことは家族にも言わないでほしいと懇願されると…ひとりで抱え込んでしまい被害に遭ってしまうのです。

また10代、20代も被害者が出ています。小池さんによると、『おそらくスマートフォンで未納料金を請求されるケース(架空請求)が多いと思います。』と、急速に発展する技術に合わせて犯罪も進化しているようです。

2016年長野県内年代別の被害者数



茅野警察署でも対策を講じています。

茅野警察署では特殊詐欺抑止お助け隊を結成し、パトロールや事故処理の帰りにコンビニや金融機関に立ち寄り、被害を阻止する活動のための指導を行っています。また年金支給日には金融機関に立ち寄って高齢者に声掛けをしています。

地道な活動が市民ひとりひとりの意識づけにつながります。その意識をしっかり持つことで、自分や家族の財産を守ることができるのではないのでしょうか。『何か困ったことがあったら茅野警察署に相談してください。』と小池さんはお話してくださいました。

茅野市消費生活センターでも相談を受け付けています。

茅野市役所1階、市民課には茅野市消費生活センターがあります。

特殊詐欺を始め、悪徳商法等の消費者トラブルの相談も受け付けています。

警察署と連携して対応いたします。

窓口でも電話でもお気軽にご相談ください。



相談は☎72-2101(内線256)へ



長野県茅野警察署
生活安全課生活安全係
係長 小池 栄太 警部補